

岩国支部事業報告

支部長 早瀬敏子

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 2)行政及び在宅と施設、病院との看護職が連携するための仕組みづくり
評価と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入院と在宅をつなげる『情報提供シート』の実践報告で、「情報共有しやすくなった。活用してみたい。ADLが分かり易い。」等の意見が聞けた。薬剤師、リハビリなど他職種の見解や、活用後の意見を基にスムーズに連携できるシートに改訂していく。 ・『情報提供シート』の共有が非公開型医療介護連携ネットワークシステム(いつつばし連絡帳)のできるように、実践研修会で医師・訪問看護師により、医師・病院看護管理者・病院や在宅の看護職・他職種に対して、いつつばし連絡帳の安全性や利点・事例紹介を行い利用者の増加を図っている。 ・岩国市地域包括ケア推進協議会で、『情報提供シート』の目的・運用を説明した。医療・介護に係る連携強化研修会で、ケアマネ・訪問看護師・保健師・介護支援専門員など多くの看護・介護職と連携強化に向けた意見交換ができた。次年度も行政と連携しながら会議・研修会を開催し、看護職間の連携強化を図っていく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 日時：R1.7.6 参加者：65人 研修名：「看護職を守るためのクレーム・暴力への対応」 講師：杉村法律事務所 杉村憲昭氏 (2)職能研修(岩国市医師会コ・メディカル研修会) 日時：R1.11.21 参加者：121人 研修名：「確認しよう！急変前兆候と蘇生時の対応」 講師：救急看護認定看護師 十時良子氏 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 日時：R2.2.8 参加者：50人(3支部合計211人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護の日記念イベント時に看護の魅力をアピールする。 (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び看護週間行事、「国際助産師の日」の開催 R1.4.21 まちの保健室で実施。各施設で実施 2)「いいお産の日」啓発事業 R1.10.20 岩国まつりで実施 3)まちの保健室 6回 参加者：961人 4)進路相談 まちの保健室開催時に実施 5)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(県委託事業) (1)検討会 5回 (2)研修会 3回 ①R1.6.21 「地域包括ケアシステムを構築する医療介護連携の強化について」 参加者：55人 ②R1.9.18 「地域包括ケアシステムを構築する医療介護連携の強化についてPart2」 参加者：39人 ③R2.2.20 「使っています！MCS いつつばし連絡帳やってみました！患者情報シート施設間連携」 参加者：69人 6)地域包括ケア・認知症予防の啓発事業 R1.11.24 「岩国市地域包括ケア推進大会」 参加者：243人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰者推薦事業 県協会に協力 2)看護職交流会 R1.12.14「スリッパ卓球」 参加者：11人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 11回 (2)看護学校入学式・卒業式祝電 2)支部集会 R1.7.6 出席者：64人 委任状：296人 計：360人 3)支部役員会 5回 4)支部委員会 (1)職能委員会 5回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)県協会ホームページへの投稿